



# 飯塚鎮西

夢や志をもち、やさしく・かしく・たくましく 鎮西児童生徒の育成

令和2年6月8日

学校通信 第4号

校長 伊東計太郎

## 夏休み(夏季休業)期間の変更

学校の1学期の終業式、及び2学期の始業式について、飯塚市教育委員会より、以下のような連絡がありましたのでお知らせいたします。

◇ 1学期 終業式 令和2年8月7日(金)

◆ 2学期 始業式 令和2年8月24日(月)

『 夏季休業(夏休み期間) 令和2年8月8日(土)～8月23日(日) 』

期日・期間の変更については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休校となったことを踏まえての対応となります。学校では、年間授業時数等を通常時と比較し、授業の進め方を決定しています。現状では、行事等に費やす時間を考慮する必要がありますが、大きく授業時間数が減ることはない状況です。

しかし、様々な行事が中止、延期、縮小・変更開催となることが考えられます。また、教科の学習によっては、文部科学省の衛生管理マニュアルにより、学習活動そのものに配慮しなければならないこともあります。今後、子どもたちが楽しく、やり遂げた感を感じられる学校生活の在り方を考えていきたいと思えます。職員も知恵を絞ります。どうか保護者の皆様のお力添えをよろしくお願ひいたします。

### 「新しい生活様式」一人ひとりが心がける基本的な感染対策

|             |  |
|-------------|--|
| 1 毎朝の体温測定   | 家庭での体温測定をお願いしています。登校時、未測定、カード未記入の場合は、学校正門通過時に測定しています。                              |
| 2 身体的な距離の確保 | 教室での机の間隔は、前後40～50cm程です。整列時は、1メートル程です。しかし、休み時間の様子は、楽しそうに外で遊んでいますが、友だちとの間隔は近くなっています。 |
| 3 マスクの着用    | 毎日、子どもたちはマスクを着けています。忘れた場合は、限られた学校備えのマスクを渡しています。登下校の際にも、マスクをするように指導しています。           |
| 4 手洗い       | 時間をかけた正しく確実な手洗いを行っていきます。必ず、ハンカチ・タオルを毎日持たせてください。                                    |
| 5 こまめに換気    | 学校の窓・扉は常に開けています。   |
| 6 使用した物の除菌  | 教室机・椅子は、児童の下校後に、手洗い場、遊具、ドアノブ等は、使用後に除菌作業を入れています。                                    |



「ソーシャルディスタンス」「3密」を意識することこそ、新しい生活様式だと言われています。学校では、最新の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.5.22 Ver1 文部科学省)をもとにした対策をとっています。しかし、小中学校児童生徒900名を超える規模の本校では、朝の登校から時間帯によっては歩道に空間がなかなか生み出せていない状況もあります。子どもたちへ空間と場所を意識した行動を心がけるように伝えていますが、休み時間の運動場の様子は、体育科学習の時とは異なり、密集、密接な場面を目にします。長い休校の反動か、外で遊んでいる子どもたちがたくさんいます。この現状をしっかりと受けとめ、子どもも、大人もそれぞれに「新しい生活様式」を意識し、体得するために日常生活をいつも見つめ、振り返りたいと思えます。学校では、子どもたちに「気をつけることを意識付けできるまで」伝えるべきことを言い続けていきます。ご家庭におかれても、左記の1～5のことについて、子どもたちへの声かえを続けていただきますようお願いいたします。

## 朝の健康観察、検温におけるお願い【重要】

毎朝、登校時に「熱を測ってきましたか」という声かけを学校正門で行っています。測っていない子どもたちには、サーマルカメラ、体温計で確実に体温を測っています。また、朝の段階で「健康チェックカード」の体温の欄を確認しています。

カードに記入された体温や学校で測った体温が平熱(目安として37度以上)を超えている場合は、ご家庭に連絡を入れ、お迎えに来ていただき、自宅での休養をお願いするようにしています。おうちで体温を測られた段階で、熱がある場合は、登校を控えていただき、通常の個人の体温に戻り、その他の症状がなくなるまで休養(休み)されるようお願いいたします。今は、学校の保健室や別室等で長時間休ませることが難しい状況です。どうか、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 暑くなると心配です・・・。

今週、大木町の水路で小学生が溺れ、尊い命が失われました。水路では遊ばないと指導はなされていたと思いますが、不幸にも足場をとられ水路に落ちたと考えられています。

本校区でも、昨年までに以下のような子どもたちの実態に対し、注意をしてきました。

- ① 広くて、深い水路に入って、水遊びをしている。
- ② 下校時に川に降りて遊んでいる。
- ③ 魚釣りをしている。自転車にかけている長い竿が危ない。
- ④ 雨で、用水路から水があふれているところに足を投げ出して遊んでいる。

暑くなると涼を求めたくなります。だからこそ、子どもの行動に注意をする季節だと言えます。



もう一つは、暑くなるとマスクをするのも息苦しさを感ずります。体育科学習ではマスクを外していますが、それ以外については、基本的にマスクをすることは予防のための大切な行動です。

しかし、登下校の様子を見ると、手にマスクを持っていたり、カバンに入れていたりして身に付けていない子どもたちが数多くいます。学校でも子どもたちに指導していきますので、登下校の際もマスクを着用するよう、ご家庭でもお話しいたきますようお願いいたします。